

宛先はご要望・ご希望に応じます。

令和8年 月 日

各自治会長 様

各 区 長 様

日本赤十字社福井県支部長

赤十字事業(講習・防災セミナー等)の活用について(依頼)

赤十字事業の推進につきまして、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、最も重要な事業である災害救護をはじめ、救急法、幼児安全法、健康生活支援などの講習、医療・血液事業、国際救援など様々な活動を行っています。

最近では令和6年元日に能登地方を襲った大規模な地震など、近年頻発しているあらゆる災害に際し日本赤十字社は、災害発生直後から被災者に寄り添った活動を続けています。

災害発生時には、日本赤十字社は直ちに救護班などの支援チームを派遣し、避難住民の方々に毛布や安眠セット(就寝用のマット等)、緊急セット(携帯ラジオ・懐中電灯や日用品等)など救援物資の配布を行います。

災害発生時には、公助、自助とあわせて地域住民が助けあう『共助』が大切であり、日ごろから住民が地域を支える態勢づくりが不可欠です。

各公民館・各自治会・まちづくり協議会等では防災に関する講座、防災訓練や研修などに取り組んでおられることと思います。日本赤十字社福井県支部は、こうした機会に地域に積極的に出向き、住民の方々の安全と健康増進を図るための防災セミナーや救急法等の講習を通して、赤十字の活動への理解促進につなげたいと考えています。

つきましては、講習・セミナー等の企画の際に、ぜひとも「赤十字事業の活用」をご検討いただき、地域住民の安全と健康増進、『共助』意識の醸成に役立ててくださいますようお願い申し上げます。

講習・防災セミナー等への講師派遣について

身近な人を救うため、とっさの手当や日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術を学んでみませんか。

また、災害発生時や避難生活を具体的にイメージしながら、いのちを守る方法を自治会などで学んでみませんか。地域で学ぶことによりいざという時の「自助」と「共助」の力を高めることができます。

お申し込みは、ご希望の①講義内容（下記の表を参考）日時及び場所（原則1時間以上）②人数（概ね10人以上）を企画し、ご連絡をお願いします。*赤十字協力団体は無料です（教材費除く）。

●赤十字講習（短期講習）

| | |
|---|-----------------------|
| 1 | 心肺蘇生と AED の使い方 |
| 2 | けがの手当など |
| 3 | 水の事故にあった際の自己保全（着衣泳）など |
| 4 | ハンドケア・リラクゼーション |
| 5 | 高齢期の健康と安全など |
| 6 | 乳児・幼児の心肺蘇生と AED の使い方 |
| 7 | ロープワークなど |

*救急法基礎講習及び各養成講習（いずれも有料）については支部ホームページまたは情報誌「日赤ふくい」をご覧ください。

●防災セミナー等

| | | |
|----|---|--|
| 8 | 災害への備え | 災害がもたらす様々な被害から平時の備えの重要性を理解することを目指します。地震、津波、風水害などの災害からいのちを守る方法、そして、その後の暮らしをつなぐための備えについて学びます。 |
| 9 | ひなんじょたいけん | 避難所に見立てた平面図とカードを用い、避難所で起きる出来事を疑似体験するゲームです。 |
| 10 | 災害図上訓練（DIG） | 居住地域の地図を使って災害リスクや防災上の資源を可視化して把握し、参加者の意見交換によってそれぞれの気づきを共有しながら地域課題に向き合います。 |
| 11 | 災害エスノグラフィー | 大災害における被災者の体験談をまとめた読み物を通じて、時間経過とともに変化する災害時の状況を追体験し、被災状況を具体的にイメージします。 |
| 12 | 家具安全対策ゲーム | 平面図を描き、自宅の家具の危険個所を把握し、家具の安全対策の必要性について学びます。 |
| 新 | 大雨・台風の避難スイッチ | 大雨・台風時の危険を「自分ごと」としてとらえ、自分と家族の避難行動について考えます。個人ワーク・グループワークをします。 |
| 13 | 防災出前授業 （「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」など） | 子どもたちが自然災害の正しい知識を持ち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動を身につけることを目指します。 |
| 14 | 地域赤十字奉仕団と学ぶ！ 防災グッズ作製 | ・牛乳パックで笛　・キッチンペーパーでマスク ・新聞紙でスリッパ　・包装紙で箱作り　など |
| 15 | 非常食炊き出し | ハイゼックス（災害救護用包装食）による炊き出しの方法を学びます（食材はご準備ください。）。 |
| 16 | その他 | 能登半島地震、熊本地震、東日本大震災における赤十字の災害救護活動、赤十字の歴史、会員・社資、献血や血液事業に関すること、高齢者等の病気に関することなど、お聞きになりたい内容を具体的に記入してください。 |

年 月 日

日本赤十字社福井県支部長 様

【主催者】 〒
 住所（所在地）
 会社・団体名
 代表者名

講習・防災セミナー等の講師派遣依頼書

講習・防災セミナー等を下記のとおり開催したいので、指導員（者）を派遣していただきたく依頼します。

| | |
|---------------------------|--|
| 日 時 (必要に応じて 複数日を記入) | 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 |
| 会 場 (必要に応じて 地図等を添付) | 名称 所在地 〒 電話番号 () |
| 受講者 | 対象 人数 名 ※概ね 10 名以上でお願いします。 |
| 連絡先 | 団体名 担当者氏名 電話番号 FAX メールアドレス |
| 内 容 (いずれかに☑) | <input type="checkbox"/> 講習（希望する内容をご記入ください。） <input type="checkbox"/> 防災セミナー等（希望する内容をご記入ください。） <div style="text-align: right;">（希望する講習名を○で囲んでください。）</div> <input type="checkbox"/> 赤十字指定のカリキュラムで行う講習（講習修了時に認定証が発行されます。） <ul style="list-style-type: none"> ・救急法基礎講習 ・救急法救急員養成講習 ・水上安全法救助員Ⅰ養成講習 ・水上安全法救助員Ⅱ養成講習 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児安全法支援員養成講習 ・健康生活支援講習支援員養成講習 ・雪上安全法救助員Ⅰ養成講習 <input type="checkbox"/> その他（お聞きになりたい内容をご記入ください。） |
| 赤十字協力団体 (該当があれば☑) | <input type="checkbox"/> 自治会・町内会 <input type="checkbox"/> 赤十字法人会員 <input type="checkbox"/> 赤十字奉仕団 <input type="checkbox"/> J R C 加盟校 <input type="checkbox"/> 献血協力団体 <input type="checkbox"/> 日赤各地区分区 |

※赤十字協力団体への派遣は無料です。

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

支部・施設所在地

| | |
|--------------|--|
| 日本赤十字社福井県支部 | 〒918-8011 福井市月見2丁目4-1 TEL(0776)36-3640・FAX(0776)34-6299 Mail soumu@fukui.jrc.or.jp |
| 福井赤十字病院 | 〒918-8501 福井市月見2丁目4-1 TEL(0776)36-3630・FAX(0776)36-4133 |
| 福井県赤十字血液センター | 〒918-8011 福井市月見3丁目3-23 TEL(0776)36-6275・FAX(0776)33-7171 |